

瀬戸内町



平成25年9月
(令和7年12月更新)
鹿児島県 瀬戸内町

目 次

1. 道路施設の現状と課題	1
(1) 管内の橋梁概要	1
(2) 施設の現状と課題	3
2. 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方	5
(1) 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方	5
3. 具体的な補修事例	6
(1) 具体的な補修事例	6
4. 今後の点検・対策計画	
(1) 点検計画期間	7
(2) 対策の優先順位の考え方	7
(3) 施設の状態	7
(4) 対策内容・実施時期・対策費用	8
(5) 長寿命化計画による効果	11
(6) 計画策定部署及び意見聴取した学識経験者	12

瀬戸内町 橋梁長寿命化修繕計画

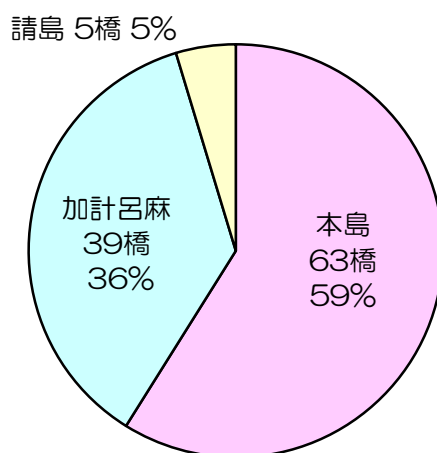
【1.道路施設の現状と課題】

(1)管内の橋梁概要

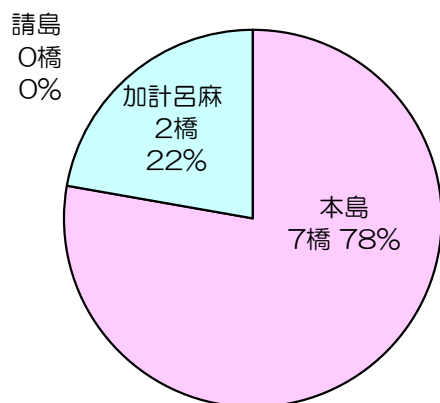
○瀬戸内町が町道と認定し、建設課が管理する橋梁数は、橋長 15m以上9橋、橋長 15m未満 98 橋、合計 107 橋となっております。管理橋梁における地域別の橋梁数は下記のとおりであり本島が全体の中で最も多く、次に加計呂麻、請島の順となっております。

「地域別 橋梁の割合」

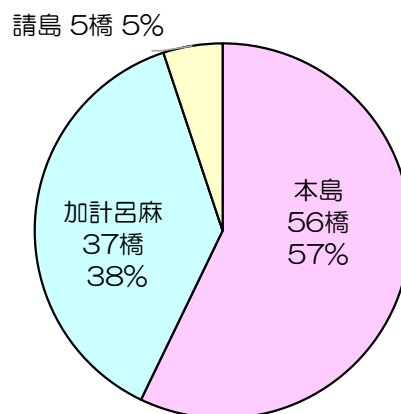
全107橋



橋長15m以上 (9橋)

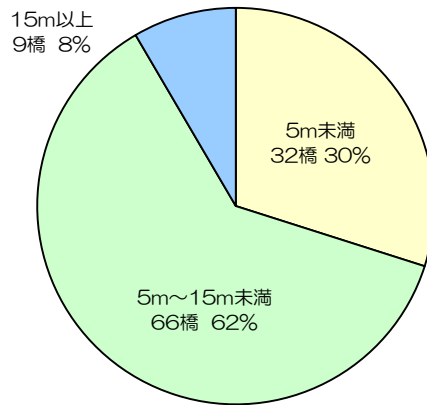


橋長15m未満 (98橋)



○橋長を3区分すると、5m 未満の橋梁が全体の約3割、5m 以上 15m 未満が約6割、15m 以上は約 1 割となっております。

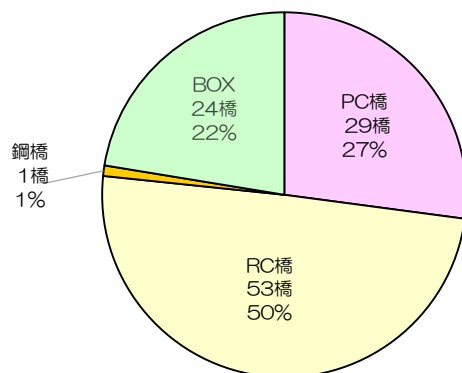
「橋長別の割合」



○橋梁種類については、RC橋が全体の約5割を占めており、PC橋が約2割、BOXが2割、鋼橋は1橋となっております。

「橋梁種別の割合」

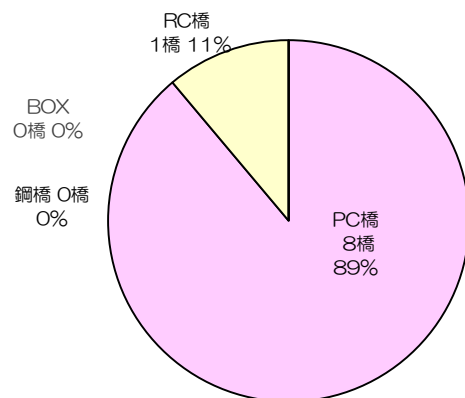
全 107 橋



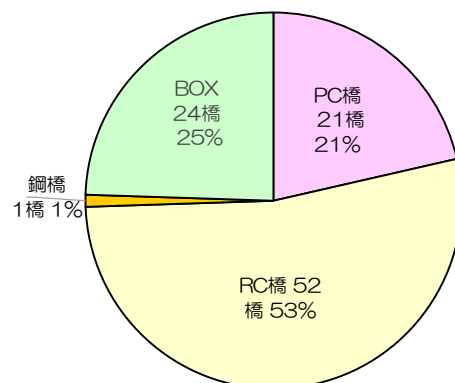
【橋種凡例】

PC橋	PC鋼材を使用した鉄筋コンクリート橋
RC橋	鉄筋コンクリート橋
鋼橋	主桁に鋼材が使用されている橋
BOX	箱形の鉄筋コンクリート函渠

橋長15m以上 (9橋)

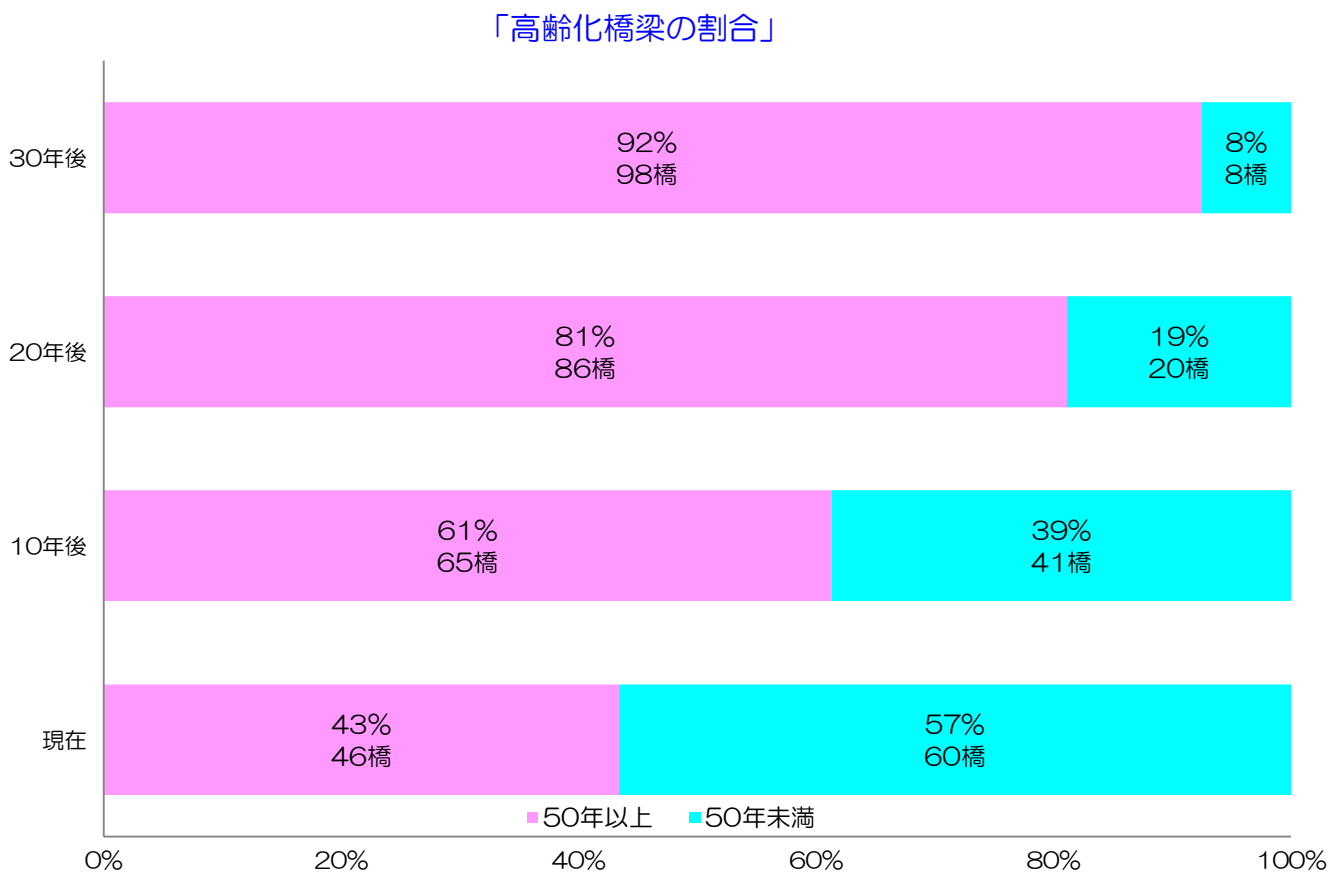


橋長15m未満 (98橋)



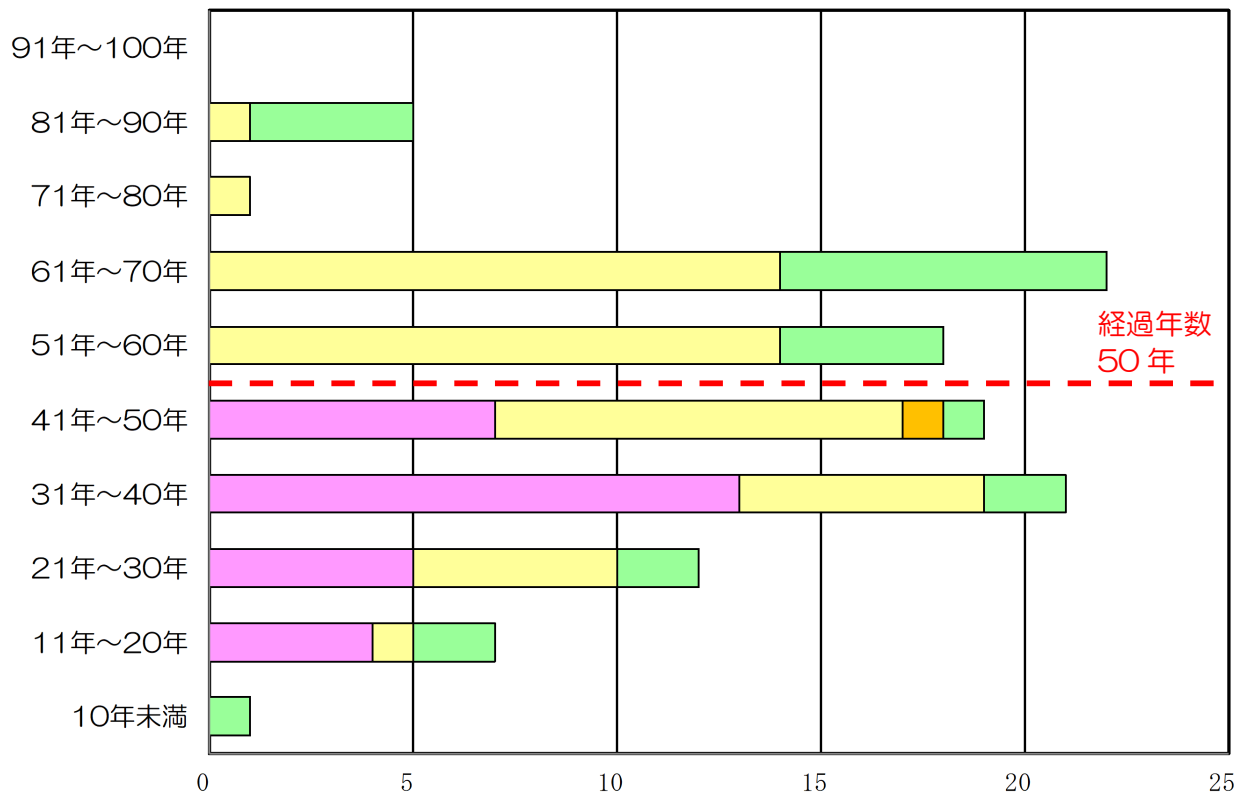
(2) 施設の現状と課題

○建設年次から 2021 年時点までの経過年数としては、全体の約 4 割(46 橋)の橋梁がその当時の一般的な橋梁寿命である 50 年を超過している。しかし、10 年後には全体の約 6 割(65 橋)、20 年後には 全体の約 9 割弱(86 橋)が経過年数 50 年に達します。よって道路橋の高齢化は急速に進み、大規模な修繕や架替えが同時期に達することが予想され、多大な財政負担となることが懸念されます。



※ 高丘橋については架設年度不明であるため、供用年数が関係するグラフには含まない。

「供用年数別 橋種の割合」



	10年未満	11年～20年	21年～30年	31年～40年	41年～50年	51年～60年	61年～70年	71年～80年	81年～90年	91年～100年
■PC	0	4	5	13	7	0	0	0	0	0
■RC	0	1	5	6	10	14	14	1	1	0
■鋼橋	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
■BOX	1	2	2	2	1	4	8	0	4	0

【2.道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方】

(1) 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

○インフラは、利用状況、設置された自然環境等に応じ、劣化や損傷の進行は施設毎に異なり、その状態は時々刻々と変化します。現状では、これらの変化を正確に捉え、インフラの寿命を精緻に評価することは技術的に困難であるという共通認識に立ち、インフラを構成する各施設の特性を考慮した上で、定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握することが重要です。

○このため、橋梁の点検については、道路橋的点検要領に基づき、5年に1度、近接目視による点検を実施し、結果については、4段階で区分することとしています。

「健全性の判定区分」

区分		定義
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

道路橋定期点検要領 H31.2

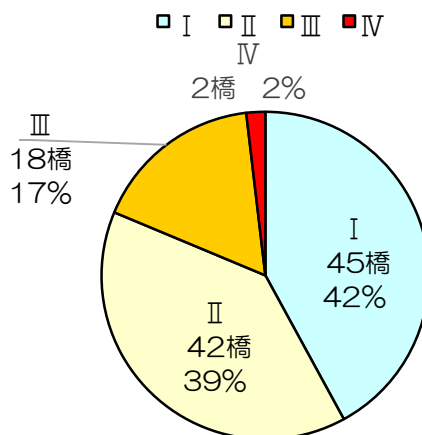
○平成 27 年度から令和元年度に掛けて実施した橋梁毎の点検結果を示します。

○橋梁毎の健全性の診断結果、全体の約4割の橋梁は「I 健全」となっております。

また全体の約4割は「II 予防保全段階」、約2割にあたる18橋が構造物の機能に支障が生じる可能性がある「III 早期措置段階」と判定されました。

なお「IV 緊急措置段階」の2橋(阿室道橋、中田2号橋)については、補修済みとなっております。

「橋梁毎 健全度の割合(全107橋)」



【3. 具体的な補修事例】

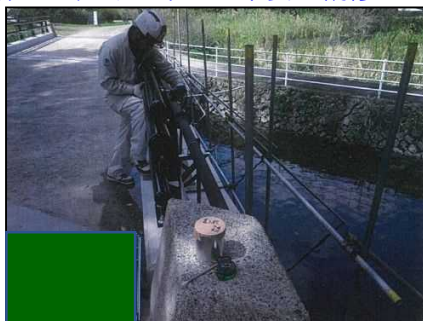
(1) 具体的な補修事例

○定期的な点検により、早期に損傷を発見し、損傷が深刻化する前に対策を実施しています。

◇嘉入阿多地線 嘉入橋（加計呂麻） 平成27、28年度に補修



補修前



補修状況(防護柵取替)



補修後

◇高丘本通線 高丘橋（本島） 平成29年度補修



補修前



補修状況(舗装打換え)



補修後

◇屋鈍西古見線 阿室道橋（本島） 平成29年度補修



補修前



補修状況(断面修復)



補修後

【4. 今後の点検・対策計画】

(1) 点検計画期間

○5 年に 1 回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかとなるよう計画期間は 10 年とします。
 なお、点検結果等を踏まえ、毎年度、計画を更新します。また、新技術等の活用により、令和 10 年度までに約 1 百万円のコスト縮減を目指します。

「通常点検」
日常パトロール



「定期点検 1回/5年」
近接目視による定期点検



橋梁点検車点検



(2) 対策の優先順位の考え方

○点検結果に基づき、効率的な維持管理が図られるよう必要な対策を講じます。
 ○対策計画期間は 10 年とし、対策や点検結果を踏まえ、毎年度、計画を更新します。

優先順位の考え方

○橋梁の対策は、路線の重要度及び第三者に対する安全性に著しく影響を及ぼし、緊急的に対応が必要な損傷がある橋梁を優先的に実施します。
 ○速やかに対策を行う必要がある区分「Ⅲ」と判定した橋梁については、損傷箇所数や損傷程度を考慮し、優先的に対策を実施します。
 ○区分「Ⅱ」以下の橋梁についても、橋梁の重要度（幹線道路・交通量）に応じ損傷が少ない段階で修繕し、橋の健全性・安全性を確保し、ライフサイクルコストを考慮した計画で費用縮減を図ります。

(3) 施設の状態

○瀬戸内町で管理する橋梁 107 橋において、平成 27 年度から令和元年度の期間で点検を実施し、その結果は、判定区分Ⅰ(45 橋)、Ⅱ(42 橋)、Ⅲ(18 橋)、Ⅳ(2 橋)となっています。
 ○橋梁において、点検計画・対策計画のとおり点検・対策を予定していますが、点検結果や予算措置状況等に応じて見直すことがあります。
 ○対策計画については、点検結果によるⅢ及びⅡ判定橋梁を対象とし、優先順位に基づき順次対策を実施する計画を策定しております。

「点検結果・対策実施・対策計画」

(橋梁数)

区分	点検結果						対策実施						対策計画									
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
Ⅳ	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ⅲ	5	7	2	3	1	4	-	-	-	3	1	1	1	2	5	2	3	1	-	-	-	-
Ⅱ	10	3	-	9	19	9	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	3	2	
Ⅰ	13	3	3	6	21	17	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

※ 1 つの施設を複数年度にわたり対策する場合は、各年度カウントしている。
 ※ 対策計画については、現場状況等により変更することがある。
 ※ H27 年点検における「Ⅳ」判定の橋梁については、補修工事対策実施済み。

(4) 対策内容・実施時期・対策費用										対策凡例				判定区分												
										点検	道路橋定期点検1回/5年				↔	対策										
										設計	補修設計				HO	対策済		※	設計時又は対策時に点検を含む							
														判定区分結果は、平成27年度～令和元年度定期点検結果によるものである。												
整理 番号	橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	幅員 (m)	所在地	架設 年度	橋梁 種類	供用 年数	点検結果		対策実施		対策の内容・時期										主な対策内容	事業費 (千円)	
										点検 年次	判定 区分	対策 済 年次	対策後 判定 区分	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13			
1	村上橋	その他	屋鈍西古見線	5.2	3.3	西古見	1965	RC床版	56	R6	Ⅱ					点検					点検			定期点検(R6・R11)	450	
2	草橋	その他	屋鈍西古見線	6.1	3.3	西古見	1965	RC床版	56	R2	Ⅰ	H30	Ⅰ				点検					点検		定期点検(R7・R12) ※H30対策済	450	
3	阿室道橋	その他	屋鈍西古見線	4.1	3.4	西古見	1965	RC床版	56	R2	Ⅰ	H29	Ⅰ				点検					点検		定期点検(R7・R12) ※H29対策済	390	
4	アガレ橋	その他	阿室管鈍線	6.6	3.3	管鈍	1963	RC床版	58	R2	Ⅲ	R4		↔			点検					点検		定期点検(R7・R12) ※R4対策済	790	
5	サザマ橋	その他	名柄花天線	5.4	2.0	花天	1993	RC床版	28	R2	Ⅰ						点検					点検		定期点検(R7・R12)	450	
6	花天1号橋	その他	花天久慈線	4.0	2.5	花天	1980	RC床版	41	R6	Ⅱ					点検					点検	設計	↔	定期点検(R6・R11)/補修設計(R12)/補修工事(R13) 表面含浸、断面修復、高欄取替、橋面防水	6,508	
7	花天2号橋	その他	花天久慈線	2.6	2.0	花天	1981	RC床版	40	R6	Ⅱ					点検					点検	設計		定期点検(R6・R11)/補修設計(R12)	3,198	
8	中田2号橋	その他	部連古志線	6.9	4.1	古志	1956	RC床版	65	R2	Ⅰ	H29	Ⅰ				点検					点検		定期点検(R7・R12) ※H29対策済	450	
9	阿室釜橋	その他	阿室釜阿木名線	5.0	2.6	阿室釜	1955	RC床版	66	R2	Ⅲ					↔	点検					点検		定期点検(R7・R12) ※R6対策済	5,561	
10	松花1号橋	その他	阿室釜阿木名線	3.6	5.6	阿木名	1953	ボックス	68	R4	Ⅰ			点検					点検					定期点検(R4・R9)	390	
11	松花2号橋	その他	阿室釜阿木名線	24.6	6.2	阿木名	1982	ボステンT桁	39	R6	Ⅰ					点検					点検			定期点検(R6・R11)	558	
12	山田橋	その他	阿室釜阿木名線	17.9	6.2	阿木名	1984	フレテンT桁	37	R5	Ⅰ				点検					点検				定期点検(R5・R10)	512	
13	阿木名橋	その他	阿室釜阿木名線	14.8	4.3	阿木名	1985	RC床版	36	R2	Ⅰ					点検						点検		定期点検(R7・R12)	546	
14	平和橋	1級	西阿室瀬相線	2.9	5.1	西阿室	1944	RC床版	77	R6	Ⅰ	H29				点検					点検			定期点検(R6・R11) ※H29対策済	390	
15	栄橋	その他	西阿室俵線	3.6	3.3	俵	1966	RC床版	55	R3	Ⅲ	R2	Ⅰ					点検					点検	定期点検(R8・R13) ※R2対策済	390	
16	嘉入2号橋	1級	俵嘉入線	5.9	4.6	嘉入	1961	RC床版	60	R6	Ⅱ					点検					点検			定期点検(R6・R11)	450	
17	木慈1号橋	その他	木慈阿多地線	4.1	3.6	木慈	1954	RC床版	67	R3	Ⅲ			設計		↔		点検					点検	定期点検(R8・R13) ※R6対策済	9,662	
18	薩川橋	1級	薩川実久線	15.4	6.0	薩川	1981	フレテンI桁	40	R5	Ⅱ				点検				点検					定期点検(R4・R9)/補修設計(R6)/補修工事(R8) 表面含浸、橋面防水、高欄取替、伸縮装置取替	16,015	
19	芝橋	1級	薩川実久線	3.9	9.1	芝	1998	ボックス	23	R4	Ⅱ			点検					点検					定期点検(R4・R9)	390	
20	みなと橋	1級	於斉花富線	2.0	10.0	伊子茂	1954	ボックス	67	R5	Ⅰ				点検					点検				定期点検(R5・R10)	390	
21	於斉橋	1級	於斉花富線	7.3	5.2	於斉	1985	フレテンI桁	36	R4	Ⅱ			点検					点検					定期点検(R4・R9)	464	
22	よろすよ橋	その他	押角徳浜線	4.4	4.2	押角	1933	ボックス	88	R3	Ⅲ					↔	点検					点検		定期点検(R8・R13)/補修工事(R7) 表面含浸、断面修復	7,204	
23	里橋	その他	押角徳浜線	2.8	1.8	押角	1955	ボックス	66	R4	Ⅰ			点検					点検					定期点検(R4・R9)	390	
24	勝能1号橋	その他	押角徳浜線	4.3	5.3	勝能	1985	RC床版	36	R3	Ⅱ					点検						点検		定期点検(R8・R13)/補修設計(R8)/補修工事(R10) 表面含浸、断面修復、炭素繊維接着、電気防食、橋面防水	11,485	
25	勝能2号橋	その他	押角徳浜線	2.4	3.2	勝能	1955	ボックス	66	R4	Ⅱ			点検				点検						定期点検(R4・R9)	390	
26	勝能3号橋	その他	押角徳浜線	2.9	3.6	勝能	1955	ボックス	66	R4	Ⅱ			点検				点検						定期点検(R4・R9)	390	
27	脇田橋	その他	押角徳浜線	3.8	2.0	諸鈍	1954	RC床版	67	R3	Ⅲ			設計		↔		点検				点検		定期点検(R8・R13) ※R6対策済	6,459	
28	平成橋	1級	生間諸鈍線	11.4	9.8	諸鈍	1989	フレテンI桁	32	R4	Ⅱ			点検					点検					定期点検(R4・R9)	484	
29	村上橋	その他	渡連諸鈍線	3.4	2.9	渡連	1951	ボックス	70	R3	Ⅰ						点検					点検		定期点検(R8・R13)	390	
30	大里橋	その他	菜種子畑線	7.2	6.4	諸鈍	1996	RC床版	25	R3	Ⅰ						点検					点検		定期点検(R8・R13)	450	
31	ヤバ2号橋	1級	於斉諸鈍線	6.0	6.2	勢里	1954	RC床版	67	R3	Ⅲ	H30	Ⅰ					点検				点検		定期点検(R8・R13) ※H30対策済	450	
32	勢里橋	1級	於斉諸鈍線	5.5	7.2	勢里	1986	RC床版	35	R3	Ⅰ						点検					点検		定期点検(R8・R13)/補修設計(R8)/補修工事(R9) 表面含浸、橋面防水、高欄取替	7,650	
33	勢里勝橋	1級	於斉諸鈍線	4.6	6.0	勢里	1964	ボックス	57	R4	Ⅰ			点検				点検						定期点検(R4・R9)	390	
34	佐知克橋	1級	於斉諸鈍線	4.6	8.1	佐知克	1983	ボックス	38	R4	Ⅱ			点検					点検			設計	↔	定期点検(R4・R9)/補修設計(R12)/補修工事(R13) 表面含浸、断面修復、高欄取替、橋面防水	10,585	
35	秋徳橋	1級	於斉諸鈍線	4.5	11.6	秋徳	2005	ボックス	16	R5	Ⅱ				点検					点検				定期点検(R5・R10)	390	
36	野見山橋	1級	於斉諸鈍線	12.0	8.7	野見山	2002	フレテン中空床版	19	R5	Ⅰ				点検				点検					定期点検(R5・R9)	546	
37	小勝橋	1級	於斉諸鈍線	12.6	8.2	諸鈍	1993	フレテン中空床版	28	R5	Ⅱ				点検					点検				定期点検(R5・R9)/補修設計(R8)/補修工事(R9) 表面含浸、断面修復、電気防食、橋面防水、高欄取替、伸縮装置取替	33,044	
38	中野橋	2級	池地請阿室線	6.0	4.9	池地	1969	RC床版	52	R3	Ⅲ			設計				↔	※				点検	定期点検(R8・R13)/補修設計(R4)/補修工事(R7) 表面含浸、断面修復、炭素繊維接着、電気防食、橋面防水、高欄取替	17,857	
39	ながはま橋	2級	池地請阿室線	8.2	5.2	池地	1987	フレテンI桁	34	R3	Ⅰ						点検						点検	定期点検(R8・R13)	464	
40	日の出橋	2級	池地請阿室線	5.5	4.4	池地	1956	RC床版	65	R3	Ⅲ			設計			↔		点検				点検	定期点検(R8・R13)/補修設計(R4)/補修工事(R7) 表面含浸、断面修復、炭素繊維接着、電気防食、橋面防水	12,696	

(4) 対策内容・実施時期・対策費用										対策凡例				判定区分																			
										点検	道路橋定期点検1回/5年				↔	対策																	
										設計	補修設計				HO	対策済	※	設計時又は対策時に点検を含む															
																								判定区分結果は、平成27年度～令和元年度定期点検結果によるものである。									
整理 番号	橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	幅員 (m)	所在地	架設 年度	橋梁 種類	供用 年数	点検結果		対策実施		対策の内容・時期										主な対策内容	事業費 (千円)								
										点検 年次	判定 区分	対策 済 年次	対策後 判定 区分	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031										
										R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13														
41	下福橋	その他	下福1号線	8.1	4.9	篠川	1955	RC T桁	66	R6	Ⅱ					点検		設計		↔	点検			定期点検(R6・R11)/補修設計(R8)/補修工事(R10) 表面含浸、断面修復、炭素繊維接着、橋面防水	13,019								
42	網野子橋	1級	網野子節子線	11.7	5.8	網野子	1989	プレテンⅠ桁	32	R6	Ⅱ					点検			設計 ※	↔			定期点検(R6・R11)/補修設計(R11)/補修工事 (R13) 表面含浸、断面修復、高欄取替、伸縮装置取替	25,176									
43	節子橋	1級	網野子節子線	16.7	8.2	節子	2006	プレテン中空床版	15	R5	Ⅰ				点検			点検					定期点検(R5・R10)	512									
44	小名瀬橋	その他	小名瀬阿鉄線	6.8	3.4	小名瀬	1961	RC T桁	60	R6	Ⅱ				点検		設計	※					定期点検(R6・R11)/補修設計(R10)/補修工事(R11) 表面含浸、断面修復、電気防食、橋面防水、高欄取替	8,936									
45	阿鉄2号橋	その他	小名瀬阿鉄線	8.8	4.8	阿鉄	1980	RC床版	41	R5	Ⅰ			点検			点検						定期点検(R5・R10)	450									
46	瀬久井橋	その他	瀬久井通線	5.5	12.8	瀬久井	1988	ボックス	33	R4	Ⅱ			点検			点検						定期点検(R4・R9)	450									
47	海幸橋	1級	古仁屋市街地線(海岸通線)	10.8	8.4	古仁屋	1960	RC床版	61	R6	Ⅱ	H27				点検		点検					定期点検(R6・R10) ※H27対策済	484									
48	大瀬戸橋	1級	古仁屋市街地線(海岸通線)	14.3	8.7	古仁屋	1983	プレテン中空床版	38	R6	Ⅱ					点検		点検	設計				定期点検(R6・R11)/補修設計(R12)	4,543									
49	黄金橋	1級	古仁屋市街地線(海岸通線)	3.3	11.0	古仁屋	2012	ボックス	9	R4	Ⅰ			点検			点検						定期点検(R4・R9)	390									
50	渚橋	1級	古仁屋市街地線(6-1号線)	15.0	6.2	古仁屋	2008	プレテン中空床版	13	R6	Ⅰ					点検		点検					定期点検(R6・R10)	482									
51	千鳥橋	1級	古仁屋市街地線(6-1号線)	15.4	6.2	古仁屋	1983	プレテン中空床版	38	R6	Ⅱ					点検		点検					定期点検(R6・R10)	512									
52	千船橋	1級	古仁屋市街地線(6-1号線)町道外	6.1	5.8	古仁屋	2002	RC床版	19	R2	Ⅰ				点検				点検				定期点検(R7・R12)	450									
53	仲里橋	その他	古仁屋市街地線(6-2号線)	6.7	5.7	古仁屋	1960	RC床版	61	R6	Ⅰ				点検			点検					定期点検(R6・R11)	450									
54	美園橋	その他	古仁屋市街地線(6-2号線)	9.0	5.8	古仁屋	1975	プレテンⅠ桁	46	R6	Ⅰ				点検		点検						定期点検(R6・R10)	464									
55	宮前橋	その他	山手通線	5.9	25.6	古仁屋	1995	プレテン中空床版	26	R1	Ⅰ				点検		点検						定期点検(R7・R10)	464									
56	平和橋	その他	山手通線	8.8	9.0	古仁屋	1979	プレテンⅠ桁	42	R6	Ⅱ				点検			点検		設計			定期点検(R6・R11)/補修設計 (R13)	3,694									
57	緑橋	その他	古仁屋市街地線(6-3号線)	6.5	5.5	古仁屋	1960	RC床版	61	R6	Ⅰ	H29				点検		点検					定期点検(R6・R10) ※H29対策済	450									
58	船蔵橋	その他	古仁屋市街地線(6-3号線)	11.7	6.2	古仁屋	1977	プレテンⅠ桁	44	R6	Ⅱ				点検			点検					定期点検(R6・R11)	484									
59	金久橋	その他	古仁屋市街地線(4-3号線)	9.1	3.2	古仁屋	1976	プレテンⅠ桁	45	R5	Ⅱ				点検			点検					定期点検(R5・R10)	464									
60	高丘橋	その他	高丘本通線	8.9	8.1	古仁屋	不明	RC T桁	-	R6	Ⅰ	H29	Ⅰ			点検			点検				定期点検(R6・R11) ※H29対策済	464									
61	大当橋	その他	高丘本通線	8.9	5.0	古仁屋	1971	RC T桁	50	R3	Ⅲ				設計		↔	※				点検	定期点検(R8・R13)/補修設計(R5)/補修工事(R7) 表面含浸、ひび割れ注入、断面修復、橋面防水、高欄取替	17,919									
62	古仁屋橋	その他	宮前本通線	6.9	12.8	古仁屋	1978	プレテンⅠ桁	43	R5	Ⅱ				点検			点検					定期点検(R5・R10)	464									
63	昭和橋	その他	宮前大湊通線	8.5	7.3	古仁屋	1979	プレテンⅠ桁	42	R2	Ⅰ				点検					点検			定期点検(R7・R12)	464									
64	松江橋	その他	古仁屋市街地線(4-3号線)	7.8	5.2	古仁屋	1990	プレテンⅠ桁	31	R2	Ⅰ				点検					点検			定期点検(R7・R12)	464									
65	中央橋	その他	篠川打赤線	12.8	4.0	篠川	1963	RC T桁	58	R6	Ⅰ	H27				点検				点検			定期点検(R6・R11) ※H27対策済	484									
66	小勝又橋	その他	小勝又線	3.6	4.2	古仁屋	1963	ボックス	58	R4	Ⅱ			点検				点検					定期点検(R4・R9)	390									
67	金久橋	その他	管鈍線	7.1	3.3	管鈍	1970	RC床版	51	R2	Ⅰ				点検					点検			定期点検(R7・R12)	450									
68	山田橋	その他	管鈍線	5.3	3.3	管鈍	1970	RC床版	51	R2	Ⅲ			設計	↔		点検				点検		定期点検(R7・R12) ※R5対策済	11,364									
69	大平橋	その他	古志線	6.6	4.8	古志	1955	RC床版	66	R2	Ⅰ				点検					点検			定期点検(R7・R12)	450									
70	摺勝橋	その他	篠川摺勝線	4.3	5.8	摺勝	1959	ボックス	62	R4	Ⅱ			点検			点検						定期点検(R4・R9)	390									
71	柳田橋	その他	篠川柳田線	7.5	4.2	篠川	1955	RC床版	66	R2	Ⅰ				点検					点検			定期点検(R7・R12)	450									
72	新川橋	その他	勝浦線	16.5	5.2	勝浦	2000	プレテン中空床版	21	R6	Ⅰ				点検				点検				定期点検(R6・R11)	610									
73	晴橋	その他	勝浦線	10.3	3.8	勝浦	1966	RC T桁	55	R2	Ⅲ	R3	Ⅰ				点検				点検		定期点検(R7・R12) ※R3対策済	484									
74	アイコン橋	その他	阿木名西線	10.5	5.2	阿木名	1988	プレテンⅠ桁	33	R2	Ⅰ				点検					点検			定期点検(R7・R12)	484									
75	仲里橋	その他	阿木名中央線	8.3	5.2	阿木名	1989	RC床版	32	R2	Ⅰ				点検					点検			定期点検(R7・R12)	450									
76	金久橋	その他	清水線	4.5	3.5	清水	1959	RC床版	62	R6	Ⅱ				点検				点検	設計			定期点検(R6・R11)/補修設計 (R12)	3,198									
77	大川橋	その他	神の子線	10.8	3.6	秋徳	1970	RC T桁	51	R3	Ⅲ	R1	Ⅰ				点検					点検	定期点検(R8・R13) ※R1対策済	484									
78	神の子橋	その他	神の子線	4.9	4.4	秋徳	1971	RC床版	50	R3	Ⅱ				点検			↔			点検		定期点検(R8・R13)/補修設計(R8)/補修工事(R11) 表面含浸、断面修復、電気防食、橋面防水、高欄取替	11,612									
79	山田橋	その他	高丘北線	8.1	6.2	古仁屋	1998	RC床版	23	R2	Ⅰ				点検					点検			定期点検(R7・R12)	448									
80	大田原橋	その他	大田原線	5.1	5.0	古仁屋	1973	ボックス	48	R4	Ⅱ			点検			点検		設計	↔			定期点検(R4・R9)/補修設計(R11)/補修工事(R12) 表面含浸、断面修復、電気防食、橋面防水、高欄取替	8,402									
81	中里橋	その他	手安5号線	4.8	2.9	手安	1955	ボックス	66	R4	Ⅱ			点検			点検						定期点検(R4・R9)	390									
82	渡連橋	その他	渡連1号線	4.2	9.7	渡連	1955	RC床版	66	R3	Ⅲ					↔		点検				点検	定期点検(R8・R13) ※R6対策済	9,094									

点検	道路橋定期点検1回/5年
設計	補修設計

↔	対策
HO	対策済

※ 設計時又は対策時に点検を含む

判定区分

I	健全	II	予防保全段階	III	早期措置段階	IV	緊急措置段階
---	----	----	--------	-----	--------	----	--------

判定区分結果は、平成27年度～令和元年度定期点検結果によるものである。

整理 番号	橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	幅員 (m)	所在地	架設 年度	橋梁 種類	供用 年数	点検結果		対策実施		対策の内容・時期										主な対策内容	事業費 (千円)
										点検 年次	判定 区分	対策 済 年次	対策後 判定 区分	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031		
83	渡連2号橋	その他	渡連1号線	6.0	4.8	渡連	1980	R C床版	41	R3	Ⅱ							点検		設計		↔	点検	定期点検(R8・R13)/補修設計(R10)/補修工事(R12) 表面含浸、断面修復、電気防食、橋面防水、高欄取替	8,321
84	清水橋	その他	清水2号線	12.0	6.2	清水	2009	プレテン中空床版	12	R1	I						点検			点検				定期点検(R7・R10)	482
85	清水2号橋	その他	清水2号線	3.9	8.3	清水	1938	ボックス	83	R3	Ⅲ					設計		点検	↔				点検	定期点検(R8・R13)/補修設計(R6)/補修工事(R7) 表面含浸、断面修復、炭素繊維接着、橋面防水、高欄取替	15,022
86	第2嘉鉄橋	その他	嘉鉄中央線	10.0	5.2	嘉鉄	1993	プレテン中空床版	28	R2	I						点検					点検		定期点検(R7・R12)	450
87	都橋	その他	古仁屋市街地2号線(4-15号線)	12.2	5.1	古仁屋	1979	H桁	42	R6	Ⅱ	H30					点検					点検		定期点検(R6・R11) ※H30対策済	482
88	春日橋	その他	古仁屋市街地2号線(4-15号線)	7.3	6.2	古仁屋	1980	プレテンI桁	41	R4	Ⅱ			点検					点検	設計	↔			定期点検(R4・R9)/補修設計(R10)/補修工事(R11) 表面含浸、断面修復、電気防食、橋面防水、高欄取替、伸縮装置取替	15,128
89	請阿室橋	その他	請阿室線	7.2	5.2	請阿室	1981	プレテンI桁	40	R3	I							点検					点検	定期点検(R8・R13)	464
90	秋徳2号橋	その他	秋徳佐地克線	8.1	4.3	秋徳	1971	R C床版	50	R6	Ⅱ					点検						点検		定期点検(R6・R11)	450
91	嘉入橋	2級	嘉入阿多地線	17.1	4.6	嘉入	1969	R C床版	52	R4	Ⅱ	H28		点検					点検					定期点検(R4・R9) ※H28対策済	512
92	須子茂2号橋	2級	嘉入阿多地線	7.5	5.6	須子茂	1968	ボックス	53	R5	Ⅲ				点検				設計 ※	↔				定期点検(R5・R10)/補修設計(R8)/補修工事(R10) 表面含浸、断面修復、電気防食、橋面防水、高欄取替	11,407
93	須子茂橋	その他	嘉入阿多地線	7.0	6.2	須子茂	1990	R C床版	31	R5	Ⅱ				点検				点検					定期点検(R4・R9)	450
94	阿多地橋	その他	嘉入阿多地線	12.3	7.5	阿多地	1994	R C床版	27	R5	Ⅱ				点検					点検				定期点検(R5・R10)	482
95	安全橋	その他	阿木名奥川線	11.1	5.2	阿木名	1988	プレテンI桁	33	R2	I					点検					設計	※		定期点検(R7・R12)/補修設計(R11)/補修工事(R12) 表面含浸、断面修復、電気防食、橋面防水、高欄取替、伸縮装置取替	16,678
96	池地橋	その他	池地中央線	4.2	3.1	池地	1933	ボックス	88	R3	I						点検						点検	定期点検(R8・R13)	390
97	仲田橋	その他	前田緑線	32.2	6.2	阿木名	1993	ボスデンT桁	28	R1	I					点検						点検		定期点検(R7・R12)	962
98	第2瀬久井橋	その他	瀬久井山手線	5.0	4.5	瀬久井	1992	R C床版	29	R6	Ⅱ					点検					点検		設計	定期点検(R6・R11)/補修設計 (R13)	3,198
99	第2里橋	その他	安脚場諸鈍線	5.1	4.8	諸鈍	1978	R C床版	43	R5	Ⅱ				点検					点検				定期点検(R5・R10)	450
100	第1里橋	その他	安脚場諸鈍線	7.5	4.7	諸鈍	1973	R C床版	48	R5	Ⅱ				点検					点検				定期点検(R5・R10)/補修設計(R7)/補修工事(R8) 表面含浸、ひび割れ注入、断面修復、橋面防水、高欄取替	4,859
101	蘇刈橋	その他	蘇刈中央線	4.2	4.3	蘇刈	1938	R C床版	83	R1	Ⅱ						点検			点検				定期点検(R7・R10)	390
102	生間橋	その他	本生間線	2.6	4.4	生間	1969	ボックス	52	R4	Ⅱ			点検					点検					定期点検(R4・R9)	390
103	中田橋	その他	諸鈍徳浜線	6.9	7.0	諸鈍	2006	ボックス	15	R1	Ⅱ					点検				点検				定期点検(R5・R10)	450
104	クロ橋	その他	押角秋徳線	8.1	4.5	秋徳	1975	R C床版	46	R6	I					点検					点検			定期点検(R6・R11)	450
105	トウソン橋	その他	押角秋徳線	8.6	4.5	秋徳	1973	R C床版	48	R6	I					点検					点検			定期点検(R6・R11)	450
106	さざなみ橋	その他	瀬久井線	6.6	7.2	瀬久井	1995	ボックス	26	R4	Ⅱ			点検					点検					定期点検(R4・R9)	450
107	手安橋	その他	手安線	4.2	6.6	手安	1932	ボックス	89	R3	Ⅲ						設計		点検	↔			点検	定期点検(R8・R13)/補修設計(R6)/補修工事(R7) 表面含浸、断面修復、炭素繊維接着、橋面防水、高欄取替	13,461

対策集計(10年間)

(橋)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
点検	19	15	27	25	19	22	20	20	20	21
設計	5	1	2	0	0	1	3	3	5	2
対策	1	1	4	2	2	2	3	2	3	3

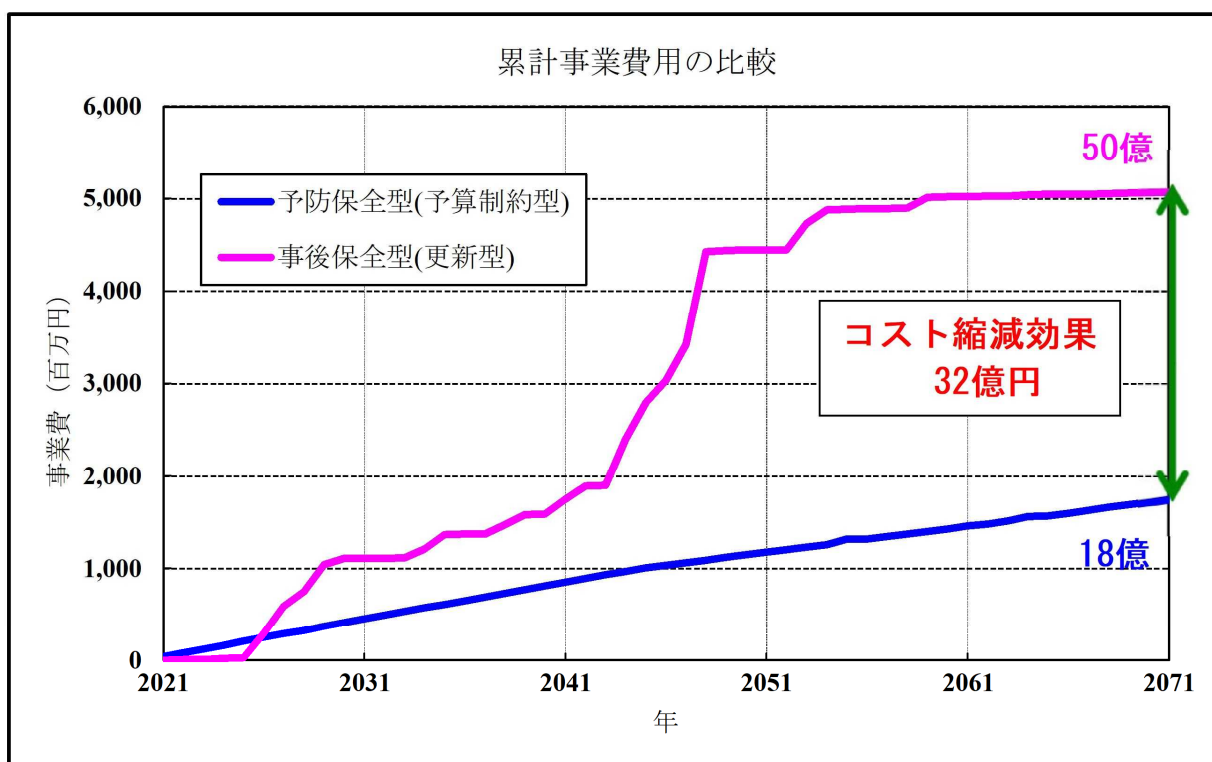
(5) 対策の基本的な方針

- 本計画に基づいてライフサイクルコストの縮減に取り組むとともに、新技術等を活用することで、点検・修繕時に要する費用の縮減に取り組みます。
また、施設の集約化・撤去の検討を積極的に行い、費用の縮減を目指します。
- 橋梁の集約化・撤去
損傷が激しい橋梁については、迂回路の有無、利用状況等を考慮し、地域及び利用者の意見を踏まえながら、令和11年度までに1橋程度の集約化・撤去を検討し、費用縮減を目指します。
- 新技術の活用
瀬戸内町の管理橋について、費用縮減や品質確保および工期短縮の可能性が高いとされ、新技術情報提供システム（NETIS）に登録された新技術等を積極的に活用することを目指します。
今後5年間で、管理する橋梁のうち3橋で新技術の活用を目指します。
- 費用縮減
橋梁の集約化・撤去に伴い、集約化の対象となる橋梁の修繕及び定期点検にかかる費用として、令和11年度までに3百万円の費用縮減を目指します。
また、「新技術の活用」に記載している新技術の活用により、従来技術を活用した修繕と比較し、令和11年度までに3百万円の費用縮減を目指します。

(6) 長寿命化計画による効果

- 長寿命化計画を策定する107橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型(更新型)が50億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が18億円となり、コスト縮減効果は32億円となります。
- また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保されます。

「50年間 計画による効果」



「維持管理区分」

維持管理区分	管理方法
予防保全型 (予算制約型)	点検に基づき損傷が軽微な段階で、小規模な補修工事を短いサイクルで行うなど、施設が致命的な損傷を受ける前に適切な対策を実施する。
事後保全型 (更新型)	施設が要求される機能を喪失した時点で、あるいは喪失する直前に更新(架け替え)を実施する。

(6) 計画策定部署 及び 意見聴取した学識経験者

○計画策定担当部署

瀬戸内町 建設課 Tel：0997-72-1111

○意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

鹿児島大学学術研究院 理工学域工学系 海洋土木工学 担当

山口 明伸 教授
審良 善和 准教授

「委員会状況」

